

<幹事報告：平田洋一幹事>



① 松戸中央ロータリークラブ例会変更のお知らせ
平成25年11月7日(木)は地区大会の振替で休会
平成25年11月14日(木)の例会は、親睦旅行
(熱海温泉ホテルニューさがみや)の為、移動例会と
させていただきます。

② 理事会変更のお知らせ
11月12日(火) 11時30分～(びわ亭)に変更致します。
(第一例会が、ガバナー公式訪問のため)

<クラブ協議会>

10月22日(火)の13時30分より、27名の会員の出席のもと、第1回クラブ協議会を開催いたしました。本日のクラブ協議会では、五大奉仕委員長より委員会活動計画及び目標に対する進捗状況について発表がございました。次回の協議会は、ガバナーを迎えて11月5日(火)に開催します。

😊 <ニコニコ委員会：寺川忠男委員> 😊



■織田 証：遅くなりました。先日は結婚祝の花束をありがとうございました。

■大川高明：先日は歓迎会ありがとうございました。
正式にロータリーの一員になったきがしました。
これからよろしく願いいたします。

■クラブ奉仕委員会：大変申し訳ありませんでした。

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。

社会奉仕基金 4,048円 《会報編集委員》高橋 修・織田証・大川隆永・瀧上啓太

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1987回 例会 2013年10月22日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第1987回:例会プログラム>

- | | | |
|-------|--|--------------------|
| 12:30 | 点鐘
ロータリーソング斉唱 | 児山守治会長
【♪我等の生業】 |
| 12:33 | お客様紹介 | 崎谷延好会長エレクト |
| 12:35 | 会食 | |
| 13:00 | 例会再開
会長挨拶・報告 | 児山守治会長 |
| 13:10 | 幹事報告 | 平田洋一幹事 |
| 13:15 | ガバナー補佐挨拶 | 渡辺 敏弘様 |
| 13:25 | 【委員会報告】
社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表
ニコニコ委員会 ニコニコ発表 | 高崎卓哉委員長
小林弘委員長 |
| 13:30 | 点鐘 | 児山守治会長 |
| 13:30 | クラブ協議会 | |



<会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。
庭先には金木犀がきれいに咲いています。秋が一挙に急ぎ足でやって来ています。
さて、皆さん宇宙の話に興味を持つ人は多いと思うのですが 火星に移住する計画についてお話しします。移住計画に世界中から応募があるそうです。オランダのNPO「マーズ・ワン財団」が主催する計画で8月末に締め切られましたが 20万人の応募があったそうです。2015年には40人程度に絞込み23年には4人を火星に送るそうです。火星へは片道切符で参加者は地球に戻らずそのまま火星で暮らす構想です。本当に実現できるのだろうか？火星までは最短でも8ヶ月ほどかかります。
有人火星探査は米航空宇宙局（NASA）などの構想もありますが往復に必要なロケットや宇宙船の開発が大きな課題で 今回は片道にすることで技術的なハードルを下げているのが特徴です。これなら既存のロケットや宇宙船を改造すれば実現できると財団は説明しています。しかし困難はすべて解決するのでしょうか？それは不確実なことばかりです。宇宙空間は重力が少ないので長期間滞在すると骨が弱くなってしまいます。強い放射線の影響も高まる。モスクワの閉鎖施設「火星500」で欧州宇宙機関（ESA）などが男性6人を520日間隔離した実験では運動機能や眠りの質も落ちたと報告されています。行くだけでも大変なことです。火星で暮らすには食料を現地で調達する必要があります。水分や窒素などがわずかにあるので太陽光発熱と組み合わせて農作物を栽培することになるでしょう。しかし地球との通信が最大40分かかり 電子機器が故障したり 病気になったりした場合も想定する必要があります。「新天地」までの道のりは遠いようですね。何よりも重要なのは巨額の費用がかかる事、各国は宇宙開発に予算を絞っており社会的な合意を得なければ先には進めません。しかし将来が楽しみな計画ですね。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

<ガバナー補佐挨拶：渡辺敏弘様>

皆さん今日は、去る9月1日に開催された情報研究会には、ご多忙にもかかわらず鈴木会員と高橋進会員にご出席して頂きありがとうございました。



本日はガバナー公式訪問の2週間前です。当クラブのガバナー訪問日は11月5日で、12分区では3番目のガバナー訪問となります。

7月のガバナー方針伝達では、貴重な時間を頂戴し、お話をさせて頂きありがとうございました。分区内のクラブを回り改めて、それぞれのクラブの違い、特徴を知ることが出来ました。

クラブの雰囲気—和やかで家庭的であったり、笑顔と活力に満ちていたり、緊張感の中にも包容力を漂わせていたり、厳しいながら気遣いがあったり、泰然として一分の隙もなかったり—などなどです。以上は私の個人的な感想であり、実態はよく分かりません。

又、ニコニコの内容や発表の仕方、例会の席の決め方なども、皆クラブの工夫が見られます。

クラブ活動計画書の作り方や記載内容、表示にも違いが見られ、奉仕活動の内容も実に様々です。

これらが長い間積み重なって各クラブの伝統や歴史となっていくのでしょうか。ロータリーは一つ一つのクラブの存在と活動が重要であり、基盤ではないでしょうか。

さて、従来クラブ協議会は各委員長さんによるクラブ委員会の計画発表の形式が取られていたようですが、今回は各クラブが相応しいと思われた方法で、開催して頂くよう会長さんにお任せいたしました。

仄聞するところによると、今年度関口ガバナーの公式訪問におけるクラブ協議会は、時間にすると一時間程度、各委員長への質問や問いかける形式で、和やかに膝を突き合わせて、皆で討論するようです。好評との噂もあります。

北ロータリークラブのさらなる発展に向けて、本日のクラブ協議会が実りあることを願って、クラブ協議会開催に当たっての挨拶のさせていただきます。



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。